

議案審議

一般会計予算や条例の一部改正などに対する
質疑応答の内容を、要約して紹介します。

**村長等の給与に関する
条例の改正**

**村民生活の現状を鑑み
引き上げるべきでない**

問 高橋七重議員

昨年まで実施していた給与10%減額をやめている。人事院勧告に準じるとはいえ、期末手当を0.1カ月分引き上げるべきではない。

答 総務課長

今回の改正は給与ではなく期末手当の額の引き上げで、人事院勧告や条例に基づき、適正に支給しています。

反対 高橋七重議員

地方民間企業の給与改

善が進まないなか、特別職の期末手当を引き上げすべきではない。

賛成 瀬谷一男議員

管内の状況も鑑み、人事院勧告どおりとすべき。

採択の結果、賛成10、反対1で可決しました。

**議会議員の期末手当
に関する条例の改正**

**議員期末手当引き上げ
は好ましくない**

問 高橋七重議員

人事院勧告はあくまで民間との格差是正のため、議会議員も期末手当を0.1カ月分引き上げるべきではない。

答 吉田好之議員

人事院勧告に基づく是

正ですので、ご理解をいただきたい。

採択の結果、賛成10、反対1で可決しました。

**平成28年度平田村
一般会計補正予算**

**道の駅に係る補助金を
返還した場合の影響は**

問 阿部 清議員

道の駅駐車場拡張について。

①用地取得による拡大のほか、立体駐車場化も視野に入れては。

②測量調査費を返還した場合、こども園建設にかかる国からの補助金

など、今後各事業に対する影響が出るのではないかと。

答 澤村村長

①立体駐車場化も可能かどうか、今回の調査で様々な可能性を探りたいと考えです。

②交付金を返上すれば、国との信頼関係を失う心配があります。

**道の駅、測量調査より
まず住民に説明を**

問 高橋七重議員

道の駅については、建設当時の対応が不誠実だった。測量調査費が認め

られれば、工事も強行されるかと思っている住民が多い。住民に合意を得た上で測量設計すべきでは

答 澤村村長

建設当時の不手際や約束の不履行など、それらを含めた問題を解決するためにも、まずは調査を行い、住民と交渉させていただきたい。

**道の駅事業は時間をか
けて話し合いを**

問 三本松和美議員

村は、地権者や周辺住民に対し説明会を実施したが、賛同を得られなかった。まずは道の駅ひらた拡張測量設計委託料を取り下げ、地権者や周辺住民と時間をかけて話し合っ

答 澤村村長

道の駅の予算は簡単に取り下げ、返上できるものではないと。住民

に事業の詳細を説明し、反対されている原因や問題点に対してきちんと対応するためにも、測量設計は必要です。

再問 三本松和美議員

説明会では、道の駅が抱える多くの問題が挙げられた。用地が確保できなかった場合、立体駐車場化するという案も出ているが、立体駐車場は村の土地分しか整備できない。それで道の駅が抱える問題の全てを解決できると考えているのか。

再答 澤村村長

立体駐車場化はあくまで案の一つです。土地が確保できるかどうかは、これからの行政の交渉により。現段階で無理だと結論づけられるものではないと。問題に対しては対策をとる考えです。



平成28年度平田村一般会計補正予算に関する修正動議の提出

太田清実議員ほか5名から道の駅ひらた拡張測量設計委託料4千万円を削除する修正予算案が提出されました。

議員全員、道の駅駐車場拡張の必要性を理解している。今回交付金を返還した数年後、やはり駐車場を拡張すべきとなった場合、測量調査費の財源はどうするのか。

駐車場の狭さは理解している。しかし、まずは地権者や地域住民の理解を得てからというプロセスを大事にして欲しい。今回の財源も返還せずに済むよう執行者側に努力していただきたい。

久保木源議員

自主財源の乏しい本村は、こういった財源を最大限活用すべきである。測量調査を反対している議員は道の駅のイベントで姿を見かけないので、是非参加して現状を見て欲しいという声も上がっている。

太田清実議員

イベントには参加しており、手狭なのは理解している。交付金をいらないうちで返還するつもりはない。また、返還するという話も聞いていない。

阿部 清議員

議会が否決した予算は返還しなければならぬことは、議員として理解してほしい。道の駅の発展で村民の所得向上を図るといっても、議員は考えなくてはならないのではないのか。

太田清実議員

地権者や周辺住民のほか、議員の半数からも反対の声が上がっているというところは、この事業に問題点があることの表れだと考える。村のためを思っこそ、この修正動議を提出した。

反対 瀬谷一男議員

自主財源の乏しい本村にとつて、国県の交付金ではなくてはならないもの。地権者や周辺住民との信頼関係をきちんと構築し、問題の改善策を盛り込むことを要望しつつ、この貴重な財源が活力ある村づくりにつながるものと考え、修正案には反対する。

賛成 三本松和美議員

地権者等に対し説明会を開いたことは評価するが、了解は得られていない。今後は時間がかかっても地権者や周辺住民の理解を得られるよう努力

すべきであり、修正案に賛成する。

反対 阿部 清議員

議員全員、駐車場拡張には反対していない。この4千万円は工事費がいくらになるのか、立体駐車場化は可能かなど調査するための予算である。議会が否決だけして、国との信頼関係の修復や今後の成行きを村任せにするのは、議会として無責任である。

採択の結果、賛成6、反対5で可決しました。

修正動議とは…

議会が予算の個別の項目を対象に、増額や減額（削除）を提案するものです。今回は一般会計補正予算のうち、道の駅ひらた拡張測量設計委託料4千万円のみを削除修正しました。

第3回議会臨時会開催

第3回平田村議会臨時会が11月14日、議場に開催されました。

（議案）平成28年度平田村一般会計補正予算

歳入歳出予算総額にそれぞれ3億9,940万2千円を追加し、予算総額を56億3,867万7千円とするもの

（歳出）井戸掘削事業費補助金2百万円、道の駅ひらた用地拡張測量設計委託料4千万円、農地等災害復旧費1,366万6千円など

（歳入）道の駅ひらた用地拡張設計委託料に充てる地方創生加速化交付金4,250万円、農地等災害補助金908万5千円など

この予算案に対し、太田議員ほか3名から修正動議が提出されました。

（修正案内容）

一般会計補正予算内の、道の駅ひらた用地拡張測量設計委託料4千万円を減額

（修正案提案理由要旨）

道の駅ひらたの駐車場拡張については、その必要性は理解できるが、計画の段階で多くの不安材料があり、事業の進め方が性急である。こども園建設予算がつくまでは道の駅の測量設計も延伸し、その間に地域住民や地権者へ事業に関する説明をすべきである。

採択の結果、賛成6、反対5で可決しました。